

主な内容

- 2……防災ほっとメール、フェイスブックからこんにちは!
- 3……ひまわり、かがやき催物、リバーナホール催物
- 4……二次救急実施病院、「ありがとうメッセージ」募集

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp



訓練想定

◆午前8時、南海トラフを震源とする巨大地震が発生

◆市内では、震度6強の揺れを観測し、死傷者、家屋の倒壊など相当の被害が発生

◆沿岸部では、強い揺れや津波により、広域的に甚大な被害が発生。このため、県外などからの支援は沿岸部に集中し、当市への支援は見込めない。

◆沿岸被害地から重症者の受入依頼を受けている。

日時 9月22日(日) 午前8時～

場所 各公民館・市民センター、一時避難場所など

※訓練の実施の有無は、9月20日(金)午後3時30分ごろから、「名張市火災情報サービス(☎63-9500)」で配信・更新します。また「FMなばり(83.5MHz)」でも、訓練当日午前6時30分ごろにお知らせします。

訓練内容

避難広報訓練

午前8時、防災ラジオ、FMなばり(83.5MHz)、防災ほっとメールなどを活用し、災害の発生を周知します。その後、広報車や消防団車両などで避難を呼びかけます。また「緊急速報メール」(件名「訓練」)避難勧告の発令)を配信します。

※携帯電話の設定がマナーモードなどでも配信時間に市内にいる場合は着信音が鳴ります。

避難訓練

メールなどを受けて市内全域で避難訓練を開始。安否確認、災害時要援護者の支援など、避難時の確認を行います。

○一部を除き各地域で実施。詳しくは、地域の広報紙や回覧などでご確認ください。

災害時は、隣近所の助け合い

市総合防災訓練

南海トラフを震源とする巨大地震は、いつ起きてもおかしくないと言われていてます。

今回の市総合防災訓練は、市や関係機関、一部の市民が参加するだけでなく、市内全域で多くの市民の皆さんにご参加いただき、市民総ぐるみで相互の連携を

強化する訓練です。そして、高齢者や障害者などさまざまな視点にたった訓練とします。

訓練では、たくさんの課題が出てくると考えています。その課題をしっかりと分析し、今後の防災対策に生かしていきます。

☎危機管理室 ☎63-7271

各地域づくり組織

避難所開設訓練

各公民館・市民センターなどを会場に避難所開設を行います。

避難地運営訓練

避難地での給水や炊き出しを行います(鴻之台3号公園)。

市

通信訓練

防災行政無線を活用し、通信訓練を行います。

災害対策本部設置・運営訓練

市災害対策本部を防災センターに設置し、運営を行います。

傷病者受け入れ訓練

多数傷病者受け入れや、ヘリコプターを活用した傷病者受け入れを行います(市立病院)。

錦生地域の訓練は…

災害時、取り残される人を出さないように

錦生地域は、地震や台風などの災害時、山間地域ということもあり、市内の中でも、土砂災害などの危険性が高い地域と言えます。今回の防災訓練は、一人ひとりが、安全な避難経路、避難場所を確認し、危険箇所対策を考えるよい機会と考えています。

災害時、取り残される人を一人も出さないためには、隣近所が確かめ合って避難することが重要だと思います。訓練では、両隣で声を掛け合い、組(班)単位で集まり、組長の指示のもと一時避難場所へ避難します。このときに、避難経路や建物、避難所に危険箇所がないかを確認します。

錦生地域では、全住民を対象とした初めての避難訓練となるため、いろいろな問題点が出てくると考えています。錦生自治協議会では、当日反省会を行い、危険箇所などを集約し、地域全体で解決に向け取り組み、大規模災害に備えます。



錦生自治協議会
防犯・防災委員会
委員長 溝口 剛さん

